

SUS POWER
AIR CLEANER
CORE-TYPE

ADVANCE POWER
AIR CLEANER

CARBON POWER
AIR CLEANER

取扱説明書

この度は BLITZ AIR CLEANER を御買い求め頂き誠にありがとうございます。
作業に入る前に必ずパーツリストと照らし合わせ、部品がすべて揃っている事を確認して下さい。

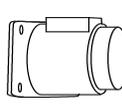
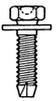
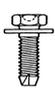
■装着可能車両■

□車 名：NISSAN GT-R
□型 式：R35
□エンジン：VR38DETT
□年 式：07/12-
□製品番号：42174/26174/35174

■重要事項■ 《本製品を装着される前に必ずお読みください》

□本製品はノーマル車両を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングK I T、ブローオフバルブ等）を装着されている場合や事故歴のある車両の場合は本K I Tの装着ができない場合があります。
□本製品を上記車両以外に装着したり改造した場合、当社は一切責任を負いません。
□取り付け作業は平坦で安全な場所で、エンジンを完全に冷やし、パーキングブレーキ等をかけて車両を確実に停止させて行って下さい。一般道、交通の妨げになる場所での作業は行わないで下さい。
□車両のバラツキにより、コンピューターセッティングが必要な場合もありますので、ご了承下さい。
□エアフロアダプター部のボルトの締付けトルクに注意して下さい。過度なトルクでの締付けは、破損の原因となります。
□取り付け後、自動車メーカーの保障につきましては弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
□作業は、バッテリーのマイナス端子を切り離して作業を行ってください。

■アタッチメント部パーツリスト■

コアアダプター	エアフロアダプター	ジョイントアダプター	ジョイントアダプター	パイプNo.1 (R)	パイプNo.1 (L)	パイプNo.2
						
2	2	2	2	1	1	2
スチール	スチール	ネジ山品	貴動山品	M4×12	ストレートホース	バンド
						
1	1	4	14	4	6	12

●SUS POWER CORE TYPE をご購入の方へ

■コア部パーツリスト■

クリーナー本体	バンド
	
1	1

■メンテナンスについて■ <商品メンテナンスの重要項目です>

1) 定期的にはコアを取り外し中性洗剤で洗浄してください。
※性能維持の為に 5000km ごとの洗浄を推奨致します。

※アタッチメント部パーツリストも合わせてご確認ください。

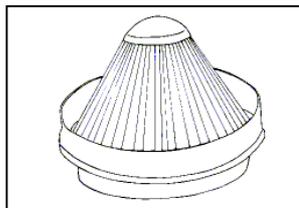
●ADVANCE POWER をご購入の方へ

■コア部パーツリスト■					
クリーナー本体	バンド	クーリングシールド	エンドプレート	ロックプレート	
					
1	1	1	1	3	
M4六角頭ビス	M4六角レンチ	保護テープ(ホコリ)	アダプターテープ(ビニール)		
					
6	1	1	1 20mm×500mm		

※アタッチメント部パーツリストも合わせてご確認ください。

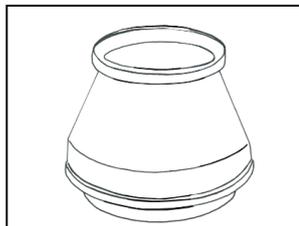
■コア部の組立手順■

手順 1



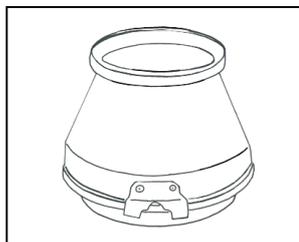
クリーナー本体にエンドプレートをはめ込みます。

手順 2



手順 1 ではめ込んだエンドプレートとクーリングシールドをはめ込みます。
※ネジ穴を合わせて下さい。

手順 3



ロックプレートを、M4 六角頭ビスを使用して組み付けます。
※M4 六角頭ビスを破損させないようにご注意ください。
※定期的に増し締めを行って下さい。

※以上で、コア部の組立は終了です。

■アダプターテープの使用方法について■

キットを取り付けする前に、アダプターテープをキットパーツのアダプター外周部に貼り付けてください。
アダプターからコア本体が脱落するのを防止します。

■メンテナンスについて■ <商品メンテナンスの重要事項です>

フィルターの交換及び清掃に関して

- 定期的にコア本体を取り外し中性洗剤で洗浄してください。
※性能維持の為に 5000km ごと洗浄を推奨致します。
- ※クリーナー部の汚れが酷い場合や破損している場合は、別売りのクリーナー本体をお買い求めください。

ご注意!

- 1) 他社メンテナンスキット及び灯油等によるフィルター清掃はエンジン損傷の原因になります。弊社の保証外にもなりますので、絶対に行わないでください。
- 2) ロックプレート取り付け/取り外しの際、M4 六角頭ボルトを破損させないようにご注意ください。弊社にて作業者のミスによる損傷と判断させて頂いた場合は保証外となります。ご了承ください。

■可変機構及びファンネルについて■

操作方法 ロックプレート固定用のM4 六角頭ビスを全て緩め、車体に干渉しない位置で締め込んで下さい。

ご注意!

- 1) 車体各部に干渉しない位置に調整して下さい。
- 2) 車体の経年変化及びバラツキによりクーリングシールドのファンネル部分が車体に干渉する場合があります。その際は、保護テープを貼るかファンネルを取り外して下さい。

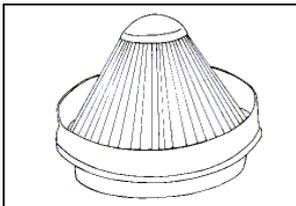
●CARBON POWER A3C をご購入の方へ

■コア部パーツリスト■									
クリーナー本体		バンド		クーリングシールド		エンドプレート		ロックプレート	
	1		1		1		1		3
M4六角頭ビス		M4六角レンチ		保護テープ(紙製)		アダプターテープ(ビニール)			
	6		1		1		1	20mm×500mm	

※アタッチメント部パーツリストも合わせてご確認ください。

■コア部の組立手順■

手順 1



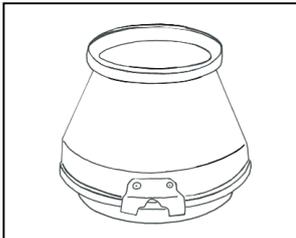
クリーナー本体にエンドプレートをはめ込みます。

手順 2



手順 1 ではめ込んだエンドプレートとクーリングシールドをはめ込みます。
※ネジ穴を合わせてください。

手順 3



ロックプレートを、M4 六角頭ビスを使用して組み付けます。
※M4 六角頭ビスを破損させないようにご注意ください。
※定期的に増し締めを行ってください。
※シールド位置の可変はできません。

※以上で、コア部の組立は終了です。

■アダプターテープの使用方法について■

キットを取り付けする前に、アダプターテープをキットパーツのアダプター外周部に貼り付けてください。
アダプターからコア本体が脱落するのを防止します。

■メンテナンスについて■ <商品メンテナンスの重要事項です>

フィルターの交換及び清掃に関して

- 定期的にコア本体を取り外し中性洗剤で洗浄してください。
※性能維持の為に 5000 km ごとの洗浄を推奨致します。
- ※クリーナー部の汚れが酷い場合や破損している場合は、別売りのクリーナー本体をお買い求めください。

ご注意!

- 1) 他社メンテナンスキット及び灯油等によるフィルター清掃はエンジン損傷の原因になります。弊社の保証外にもなりますので、絶対に行わないでください。
- 2) ロックプレート取り付け/取り外しの際、M4 六角頭ボルトと緩み止めの Oリングを破損・紛失させないようにご注意ください。
弊社にて作業者のミスによる損傷と判断させて頂いた場合は保証外となります。ご了承ください。

カーボンクーリングシールドについて ※下記カーボン製品の特性になっております。ご了承願います。

- カーボン繊維を曲面に貼り付けているため合わせ面が存在します。その部分はカーボンの目が均一になっていません。
- カーボンシールドを内側から覗くと外側の光が見えます。カーボン繊維の隙間から見えるもので、シールド本体に穴が開いているなどの異常ではありません。
- カーボンシールド表面、内側に凹凸や光沢ムラ、細かい気泡がある場合があります。
- カーボンシールドに強い衝撃を与えると、割れる恐れがありますのでご注意ください。
- カーボン製品のため、長期使用による表面の傷、変色などが発生する場合があります。

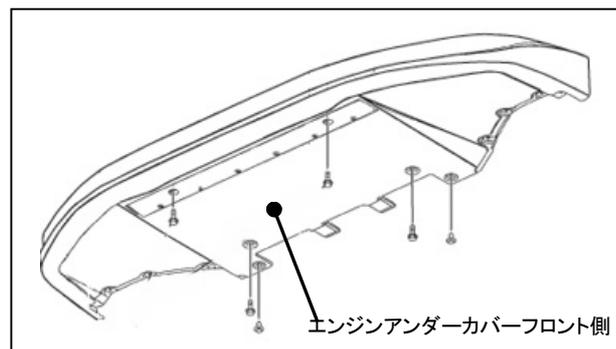
1. ノーマルクリーナーの取り外し。

※取り付けの際に元の位置が分るようマーキングをつけながら作業を行ってください。

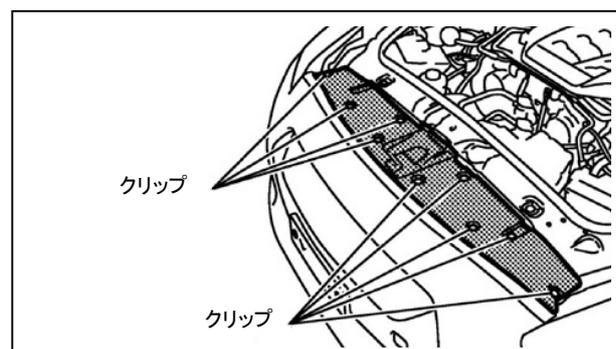
※作業は、バッテリーを切り離して行ってください。

①インナーフェンダーフロント側を
左右共に取り外します。

②エンジンアンダーカバーフロント側を
車両と切り離します。

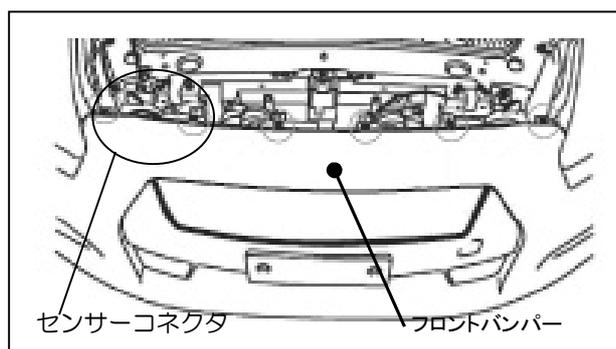


③ラジエターカバーを取り外します。



④フロントバンパー上部のクリップを
取り外します。

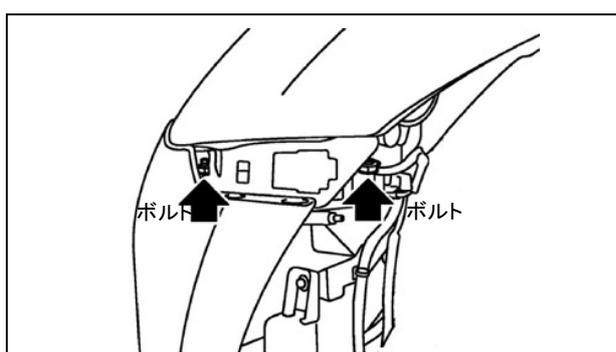
⑤フロントバンパー裏のセンサー
コネクタを切り離します。



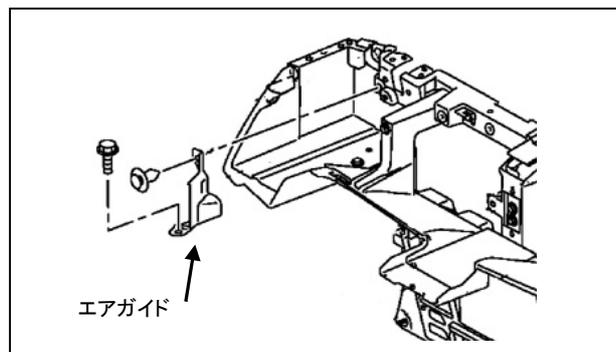
⑥ターンシグナルランプのコネクタを
取り外します。

⑦フロントフェンダとフロントバンパー
を結合しているボルトを取り外します。

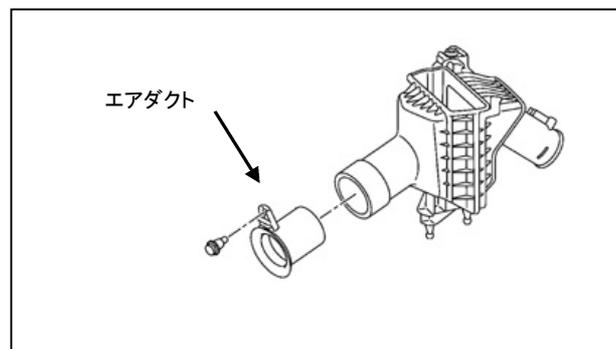
⑧フロントバンパーを取り外します。
※バンパーサイドにツメのかん合がありま
す。ツメを破損しないよう注意して作業を
行ってください。
※エンジンアンダーカバーフロント側と一体で
フロントバンパーを取り外します。



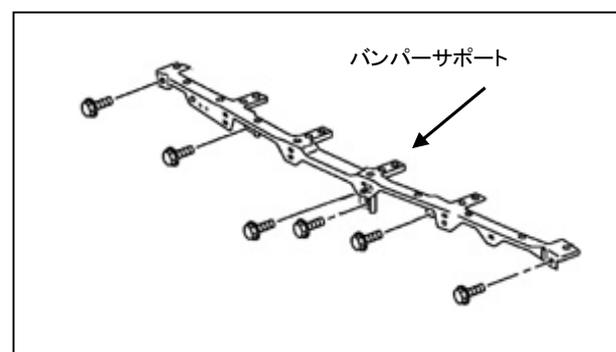
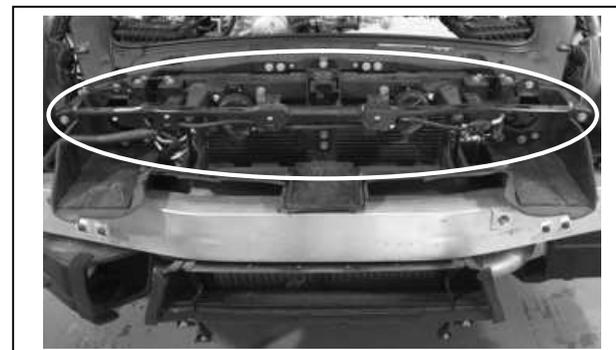
⑨エアガイドを左右共に取り外します。



⑩エアダクトを左右共に取り外します。



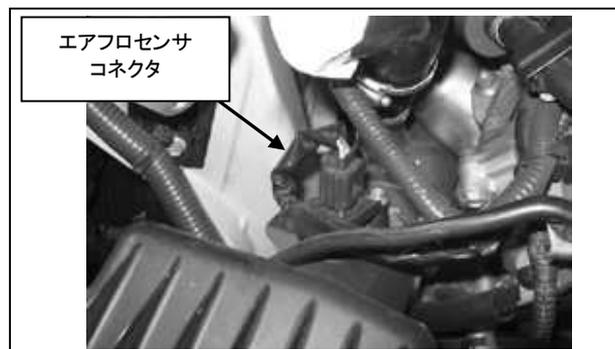
⑪バンパーサポートを取り外します。
※ハーネス固定クリップ及び、ボンネットワイヤを予め切り離しておきます。



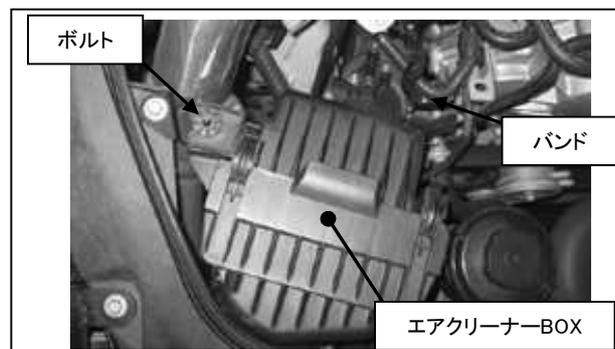
⑫リサキュレーションバルブを、
車両より取り外します。
タイミングチェーンカバー側のアース線を、
切り離します。
車両 LH も同様に取り外します。
※画像は、他キットが装着状態ですが、
純正品の場合も同様です。



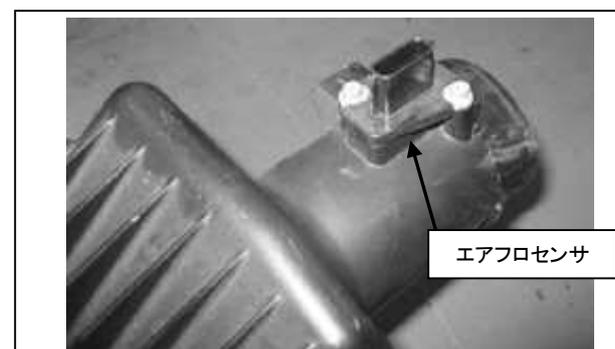
- ⑬エアフロセンサコネクタ切り離します。
車両 LH も同様に切り離します。



- ⑭ボルト 1 箇所及び、純正サクシヨンのバンドを緩め、エアクリーナーBOX を車両より取り外します。
車両 LH も同様に取り外します。



- ⑮エアクリーナーBOX よりエアフロセンサを取り外します。
車両 LH も同様に取り外します。



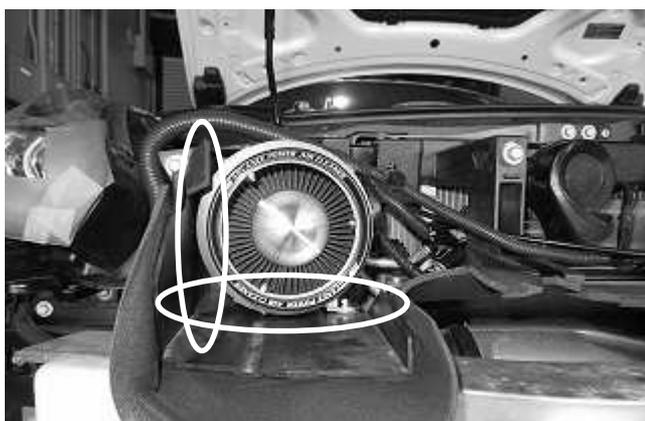
※エアクリーナーの取り付け前に

本製品取付の際、どうしてもエンジンルームの各部品と近くなる部位があります。エアコンパイプに関しては曲げれる部分ではで曲げ、曲げられない部分は緩衝材を使用して下さい。フレームに関しては鉄部分は削り、カーボン部分は削らず緩衝材を貼り付ける等して、車体との直接の干渉を防いで下さい。

下記に関しては一例で、車両誤差や取り付け方によって他の部位が近くなる場合があります。細部まで点検を行い、対策を行って下さい。干渉したままで長期間使用するとエアコンパイプやアルミパイプに穴が空き、車両の故障につながる可能性があります。



エアコンパイプが近い場合は曲げて下さい。曲げられない場合は干渉材を巻いて直接の干渉を防いで下さい



コアが近い場合コアに緩衝材を貼付けて下さい



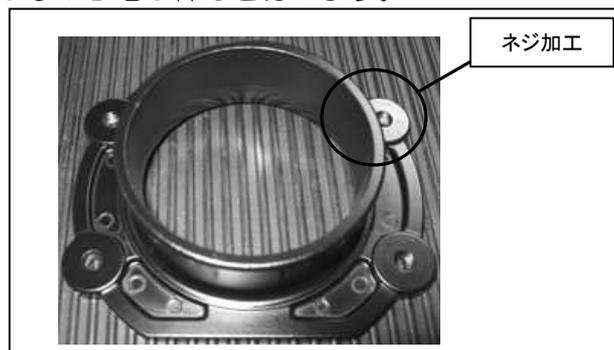
フレームが近い場合、削れるのであれば削り、削れなければ緩衝材を貼り付けて下さい



2. エアクリーナーの取り付け。

※各部の作業は仮組みとし、最後に全体の位置を調整しながら増し締めを行います。

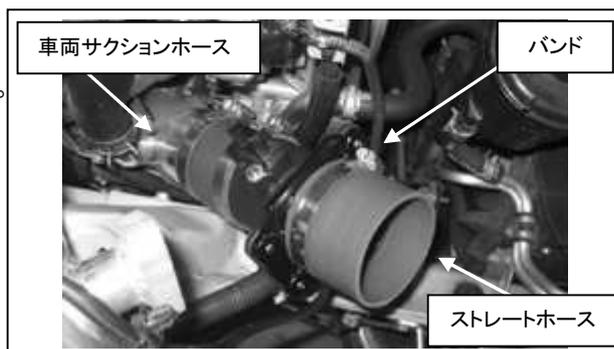
- ①エアフロアダプターへジョイントアダプターを接続します。付属の M6×15 を使用します。
 ※ジョイントアダプターの四隅の穴に、ネジ加工が施された物を使用します。
 ※車両 RH、LH のそれぞれに使用するため、2 セット組み立てます。



- ②組み立てたエアフロアダプターへエアフロセンサを取り付けます。付属の M4×12 を使用します。



- ③組み立てたエアフロアダプター ASSY のジョイントアダプター側へ、ストレートホースを取り付け、車両サクシジョンホースへ仮留めします。ストレートホースは、付属のバンドを使用して固定します。
 ※画像は車両サクシジョンホースが純正品ではありませんが、取り付け方法は変わりません。
 ※車両 LH も同様に取り付けます。

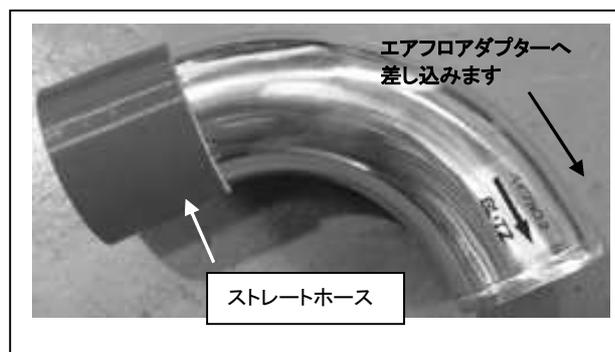


車両 RH を接続していきます。

④パイプ No.2 ヘストレートホースを仮付けします。

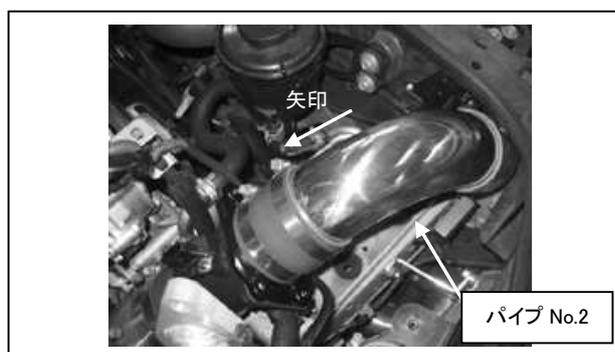
※矢印の先端をエアフロアダプターASSY の
ストレートホースへ挿し込みます。

※パイプ No.2 は左右共に共通です。



⑤パイプ No.2 を車両へ仮留めします。

※パイプへ貼られている矢印の向きが空気の流れる
向きを表しています。

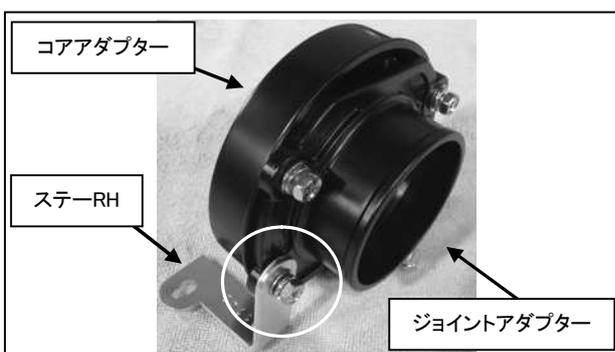
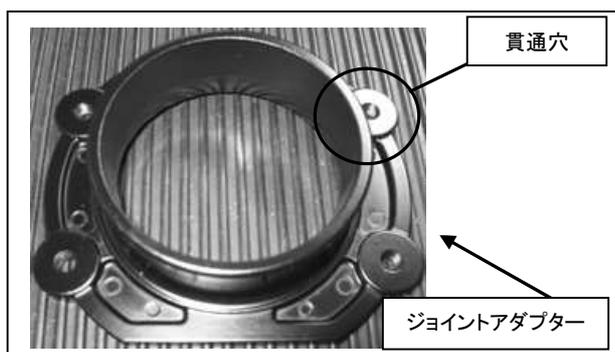


⑥コアアダプターヘジョイントアダプターを
接続します。

図中○部分ヘステーRH を共締めします。

ステー部分へは M6×20 を、その他の部分へは
M6×15 を使用します。

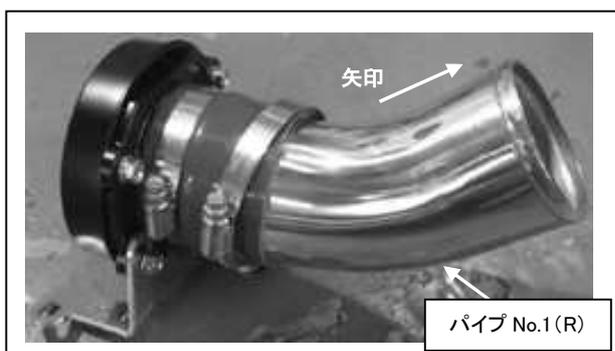
※ジョイントアダプターの四隅の穴が貫通穴に
なっている物を使用します。



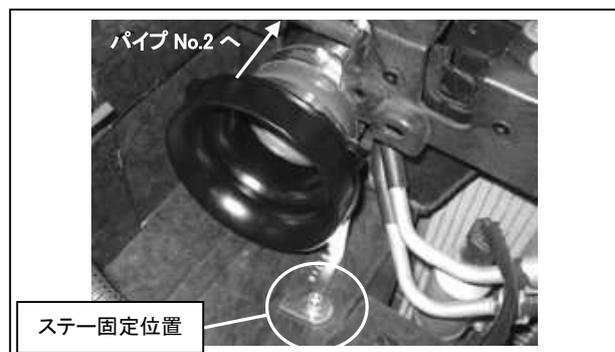
⑦組み立てたジョイントアダプターヘ

ストレートホースを接続し、パイプ No.1 (R)
を接続します。付属のバンドを使用します。

※パイプへ貼られている矢印の向きが空気の流れる
向きを表しています。



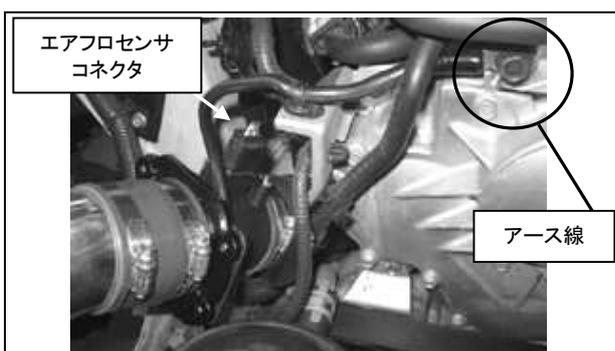
- ⑧組み立てたジョイントアダプターASSYを車両へ仮留めし、パイプNO.2へ接続します。ステーは取り外したエアガイドの固定ボルト位置へ、付属のM6×20を使用して留めます。



- ⑨コアアダプターへクリーナー本体を仮留めし、各部に干渉が無い様位置を調整し、各部のボルト、バンドを本締めします。

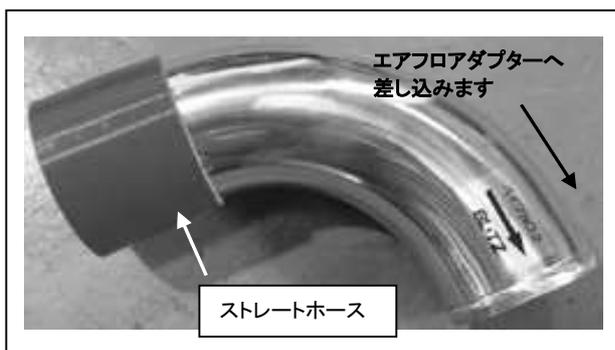


- ⑩エアフロセンサコネクタ及び、アース線を接続します。
※アース線を通す所が変わります。

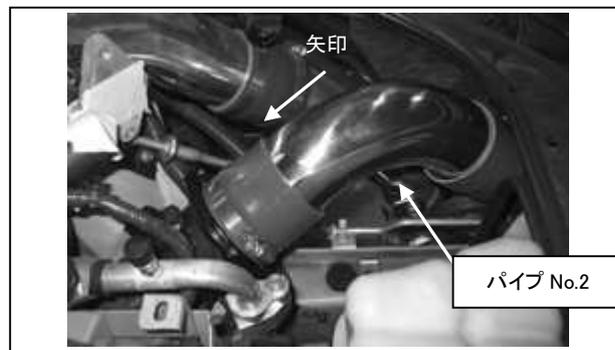


車両 LH を接続していきます。

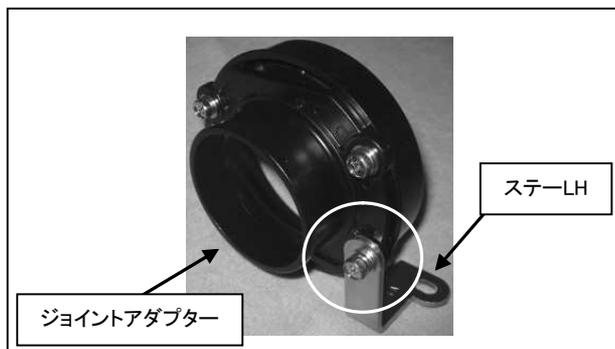
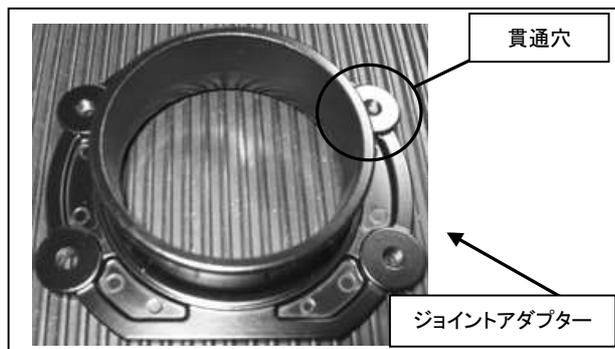
- ⑪パイプ No.2 へストレートホースを仮付けします。
※矢印の先端をエアフロアダプターASSYのストレートホースへ挿し込みます。
※パイプ No.2 は左右共に共通です。



- ⑫パイプ No.2 を車両へ仮留めします。
 ※パイプへ貼られている矢印の向きが空気の流れる向きを表しています。



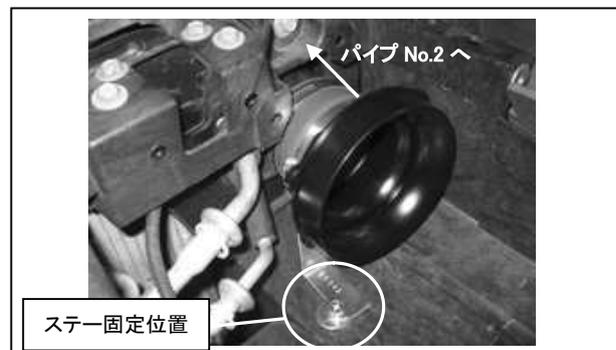
- ⑬コアアダプターへジョイントアダプターを接続します。
 図中○部分へステーLH を共締めします。
 ステー部分へは M6×20 を、その他の部分へは M6×15 を使用します。
 ※ジョイントアダプターの四隅の穴が貫通穴になっている物を使用します。



- ⑭組み立てたジョイントアダプターへストレートホースを接続し、パイプ No.1 (L) を接続します。付属のバンドを使用します。
 ※パイプへ貼られている矢印の向きが空気の流れる向きを表しています。



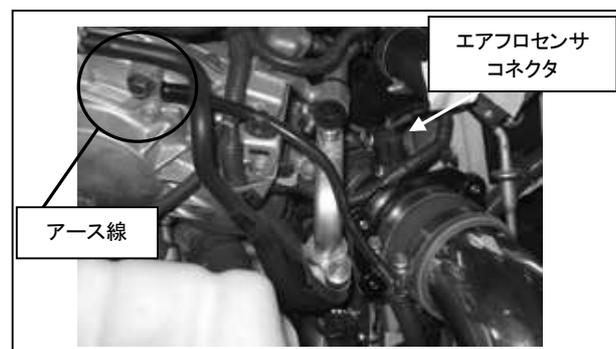
- ⑮組み立てたジョイントアダプターASSYを車両へ仮留めし、パイプNO.2へ接続します。ステーは取り外したエアガイドの固定ボルト位置へ、付属のM6×20を使用して留めます。



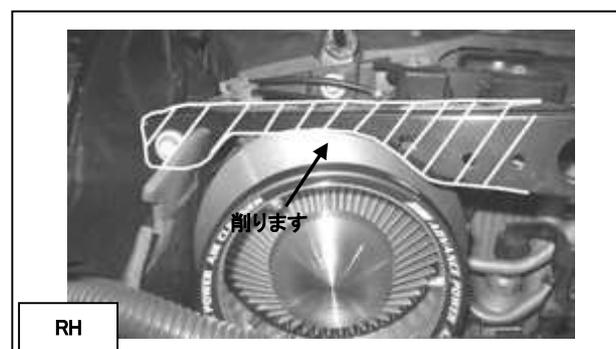
- ⑯コアアダプターヘクリーナー本体を仮留めし、各部に干渉が無い様位置を調整し、各部のボルト、バンドを本締めします。



- ⑰エアフロセンサコネクタ及び、アース線を接続します。
※アース線を通す所が変わります。



- ⑱バンパーサポートヘコアの逃げ加工を行います。
バンパーサポートを車両へ当て、画像斜線部分
のように干渉部分を削ります。
※削った部分には、防錆処理を行ってください。



- ⑲バンパーサポートを車両へ取り付けます。
ハーネス、ボンネットワイヤを
元のように固定します。



- 以上でクリーナーの取り付けは終了です。
取り外した際と逆の手順で、
リサキュレーションバルブ、
フロントバンパー、
ラジエターカバー、
インナーフェンダーフロント側を取り付けます。
※ハーネスの接続、クリップ、ボルトの
取り付け忘れに十分注意して下さい。



以上で、全ての作業は終了です。定期的に干渉や緩みが無いかなど各部の点検や増し締めを行ってください。

- ※エアクリーナー取り付け直後は、エアフロセンサー等の初期学習値が変わるため、
エンジンがストールする場合があります。
取り付け等に不備が無いかなど確認後、再始動し学習させてください。

保証書

この度は本製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
本製品が正常な使用状態で、製造上の原因による故障が生じた場合、下記保証期間中において本状記載の保証規定に基づき無償で修理致します。

- 車両型式（車検証に記載されています。） : _____
- エンジン型式（車検証に記載されています。） : _____
- 登録年月日（車検証に記載されています。） : _____ 年 月 日
- 走行距離（クリーナー交換時の距離） : _____ km
- お客様名 : _____ km
- お客様住所 : _____
- お客様お電話番号 : _____
- 販売店名 : _____
- 商品購入日時 : _____ 年 月 日
- 不具合内容 : _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____

保証規約

フィルターを除く部品に関して、ご購入から1年間において無償修理致しますので、製品、本保証書及びご購入時のレシート（又は領収書）を持参の上、ご購入店にお申し出下さい。

1.下記の事項に該当した場合は有償です

- 1) 上記記載事項抜け及び所定事項を訂正した場合。
- 2) 本保証書及びレシートが無い場合。
- 3) ユーザー様が直接弊社に持ち込んだ場合。
- 4) 弊社にて取り扱い不備によるものと判断させて頂いた場合。
- 5) 不当な改造や修理によって生じた故障や損傷がある場合。
- 6) 他の機器が原因で本製品に故障が生じた場合。
- 7) 購入後の経年変化及び消耗品の交換

2.注意事項

- 1) 本製品が原因で生じた付随的損傷（エンジントラブル、その他事故）や自動車を使用出来なかった事による損失（電話代、レンタカー代、休業保証、商業損失）等については、一切の保証は致しかねます。
- 2) 本保証書は再発行致しません。

開発・製造・発売元 株式会社ブリッツ
所在地 〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
連絡先 0422-60-2277

取扱説明書番号 26174011
初版作製年月日 2011.5.1

BLITZ